

第8回 大阪大学・チュラーロンコーン大学 日本文学国際研究交流集会

日時：2017年6月10日(土) 13:30～17:30

会場：大阪大学 豊中キャンパス

文法経済学部本館 中庭会議室

開会の辞 加藤洋介 / KATO Yosuke (大阪大学教授)

〈第1ブロック 13:40～14:40〉 司会 モハammad・モインウッディン / MOHAMMAD MOINUDDIN (大阪大学特任助教)

ポンティップ・ワカバヤシ / Porntip WAKABAYASHI (チュラーロンコーン大学大学院生)

「浦島伝説の利用 —京都・伊根町の場合—」

ティモシー・ジェイク / Jake Timothy (大阪大学大学院生)

「『津軽』における『思ひ出』 —太宰治の旧作の引用」

ティンナパス・パーハニット / Tinnapas PAHANICH (チュラーロンコーン大学大学院生)

「江戸川乱歩「少年探偵団シリーズ」におけるチンピラ別働隊像」

〈第2ブロック 15:05～16:05〉

司会 小橋玲治 / KOHASHI Reiji (大阪大学助教)

佐々木俊英 / SASAKI Toshihide (大阪大学大学院生)

「三島由紀夫「綾の鼓」論 —岩吉の人物形象を中心に「二場物」としての作品構成をめぐる—」

朴秀浄 / PARK SOOJUNG (大阪大学大学院生)

「三島由紀夫『禁色』にみる同性愛の表象 —悠一の変化に注目して—」

ドゥシター・パリンヤポン / Dusita PARINYAPOL (チュラーロンコーン大学大学院生)

「村上春樹文学に見られる男性像 —『ノルウェイの森』を中心に」

〈第3ブロック 16:15～17:15〉

司会 莊千慧 / Chuang Chien Hui (大阪大学特任助教)

新井由美 / ARAI Yumi (大阪大学助教)

「新聞小説挿絵の諸相 —小村雪岱の仕事を中心に」

斎藤理生 / SAITO Masao (大阪大学准教授)

「戦時下大阪の新聞小説 —織田作之助『清楚』の方法」

講評 荒木浩 / ARAKI Hiroshi (国際日本文化研究センター教授)

海野圭介 / UNNO Keisuke (国文学研究資料館准教授)

久保田裕子 / KUBOTA Yuko (福岡教育大学教授)

ナムティップ・メータセート / Namthip METHASATE (チュラーロンコーン大学助教授)

飯倉洋一 / IIKURA Yoichi (大阪大学教授)

清水康次 / SHIMIZU Yasutsugu (大阪大学教授)

蔦清行 / TSUTA Kiyoyuki (大阪大学准教授)

山本嘉孝 / YAMAMOTO Yoshitaka (大阪大学講師)

勢田道生 / SETA Michio (大阪大学特任講師)

閉会の辞 チョムナード・シティサーン / Chomnard Setisarn (チュラーロンコーン大学助教授)

総合司会 福田涼 / FUKUDA Ryo (大阪大学大学院生)

李慧珏 / LI Huijue (大阪大学大学院生)

多くの国の若手の日本文学研究者が発表・議論を行います。参加は自由です。多くの方のご来場をお待ちしております。

主催：大阪大学日本文学研究室・チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座

共催：大阪大学大学院文学研究科・国際交流基金 タグ国トヨタ自動車株式会社

連絡先：日本文学・国語学研究室 (内線5111) e-mail: samsa@let.osaka-u.ac.jp